



令和6年4月号
所沢市立荒幡小学校
校長 小林 雅行

児童一人一人の笑顔がキラリ輝く学校

～一人もとりこぼさない教育の推進～

暖かな春の訪れを感じる今日この頃、入学式を前にして校庭の桜の木々が満開となりました。新1年生の御入学、誠にありがとうございます。また、はつらつと笑顔いっぱい進級した児童の保護者の皆様、ありがとうございます。教職員一同心からお祝い申し上げます。

開校43年目を迎えた本年度、教職員一同、さらなる高みを目指し努力していきます。今日学校では、様々な教育改革や学力向上を始めとする数多くの取組が進められています。本校におきましても教育活動の更なる充実を目指し全教職員が一致団結して取り組んでいます。また、この年度替りで教職員8名が異動し、新たに8名が着任しました。新しい体制で、力を合わせ全力で本校教育の充実を目指し努力いたします。

本年度の児童数は、新入生47名・2年生48名・3年生62名・4年生58名・5年生63名・6年生63名の合計341名となります。また、特別支援学級(ひまわり学級)も新設されました。よき伝統を引き継ぎ荒幡小学校の発展、創造のために、そして地域に誇れる学校づくりのために、子供たちと共に力を合わせてまいります。

人間教育の基本思想に『可愛くば、五つ数へて三つほめ、二つ叱って良き人となせ』(二宮尊徳)という言葉があります。相手に対して5つ対象を見つけ出し、そのうち3つを褒め、2つを叱る。褒めるだけでは駄目になるし、叱るだけでも相手が駄目になる。令和の時代6年目、荒幡小学校では、その点を教職員一同が意識し、『児童一人一人の笑顔がキラリ輝く学校』を目指して参ります。

本日の始業式で、子供たちには、「当たり前のことを、当たり前ができる」社会でも通用する「基礎・基本」が身についた大人になるためにというお話をしました

※「当たり前のことを当たり前ができる子」の10の約束

- ①「明るい挨拶をする。」
- ②「何かしてもらったら「ありがとう」を言う。」
- ③「使ったものは必ずもとのところへもどす。」
- ④「人のものには手をださない。」
- ⑤「人をぶたない。」
- ⑥「人のめいわくになることをしない。」
- ⑦「間違ったことをしてしまったら「ごめんなさい」と言う。」
- ⑧「ルールを守る。」
- ⑨「食事の前には手をあらい、ごはんはよくかんで食べる。」
- ⑩「よく遊び、よく学び、よく寝る。」

「知」「徳」「体」の調和のとれた子供の育成に向け、教職員一丸となって全力で教育活動を進めてまいります。保護者・地域の皆様方、本年度もどうぞよろしく願いいたします。

最後になりましたが、今年度、校長として着任いたしました小林雅行でございます。この出会いを大切に荒幡小学校のために尽力いたします。よろしく願いいたします。